

ラ・レーチェ・リーグの コミュニケーション技術(CTS) 学習会

▶日程

9月2日(土)～3日(日)

▶会場

利根中央病院 研修室(群馬県沼田
市沼須町910-1)

▶対象

母乳育児支援に関心のある方なら
どなたでも

▶継続教育単位

申請予定

▶定員

12名

▶参加費

1万9000円(ラ・レーチェ・リー
グ年会費、諸経費含む)

▶申し込み方法

下記ホームページよりお申し込みく
ださい。

▶問い合わせ先

母乳育児サポートこでまりの会

HP <https://goo.gl/rXVgEZ>

日本家族看護学会 第24回学術集会

▶日程

9月2日(土)～3日(日)

▶会場

東京ベイ幕張ホール(千葉県千葉
市美浜区ひび野2-3)

▶テーマ

地域包括ケアの時代に家族看護に
期待される実践

▶プログラム

- 会長講演「在宅支援サービスに
おける家族支援」荒木暁子(千
葉県千葉リハビリテーションセ
ンター看護局長)

- 教育講演「認知症高齢者の家族
を支える一名古屋事件最高裁判
決を踏まえて」池田直樹(上本
町総合法律事務所弁護士)

- 特別講演・市民公開講座「市民
と創る地域包括ケア—患者が看
護師に期待すること」山口育子
(NPO 法人ささえあい医療人権
センター COML 理事長)

▶参加費

会員1万円、非会員1万1000
円、学生3000円(大学院生は除
く、学部学生や看護師養成校の学
生対象)

懇親会 7000円

▶問い合わせ先

運営事務局

〒100-0003 東京都千代田区一
ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F
株式会社毎日学術フォーラム内

☎ 03-6267-4550

☎ 03-6267-4555

✉ maf-jarfn24-chiba@myna
vi.jp

第15回日本生殖看護学会 学術集会

▶日程

9月10日(日)

▶会場

新潟日報メディアシップ2階 日
報ホール(〒950-8535 新潟県
新潟市中央区万代3-1-1)

▶プログラム

- 教育講演「着床・妊娠維持にお
ける黄体ホルモンの役割」荒川
修(荒川大桃エンゼルマザーク
リニック院長)
- シンポジウム「医療は不妊状態
にある人々の意思決定の支援を
しているか」河合蘭(出産

ジャーナリスト)／吉村泰典(生
命の環境研究所)／村上貴美子
(蔵本ウィメンズクリニック)／
赤星ポテ子(妊活イラストレー
ター)

ほか

▶参加費

会員6000円、非会員7000円、
学生(大学院生・研修生は除く)
1000円

▶問い合わせ先

第15回日本生殖看護学会学術集
会事務局

〒951-8518 新潟県新潟市中央
区旭町通2番町746

新潟大学大学院 保健学研究科内

☎ 025-227-0948

✉ jsfn15-office@clg.niigata-u.
ac.jp

第142回避妊と性感染症 予防(SRH)セミナー

▶日時

9月30日(土)9:30～16:00

▶会場

札幌国際ビル(北海道札幌市中央
区北4条西4-1-8F)

▶対象

医師、保健師、助産師、看護師、
養護教諭、看護教員、教職員、カ
ウンセラー、ほか(教育・福祉関係
者等)

▶内容

「性の健康教育の実践～伝える技
術を磨く」資料づくり、パワーボ
イント作成に際しての工夫、健康教
育を行なう際の心がけなど、第一
線で活躍する講師から役立つ情報
を学ぶ。

▶講師

北村邦夫(日本家族計画協会)、大

情報お待ちしています

告知したいイベント、セミナーなど、開催日の約2か月前までに、FAX、郵便、e-mail などでお送りください。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室 FAX 03-5804-0485 ✉ josan@igaku-shoin.co.jp

澤絵里(国立保健医療科学院), 蓮尾豊(あおもり女性ヘルスケア研究所)

▶受講料

5400 円

▶申し込み方法

日本家族計画協会のホームページからお申込みください。

HP <http://www.jfpa.or.jp/>

▶問い合わせ先

日本家族計画協会 研修担当

☎ 03-3269-4785

第 33 回日本分娩研究会

▶日時

10 月 5 日(木)13:00~17:35

▶会場

神戸国際会議場(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-9-1)

▶テーマ

高めよう助産力

▶プログラム

- 会長講演「助産指導による母子感染予防」出口雅士(神戸大学大学院医学研究科産科婦人科学分野特命教授)
- 教育講演Ⅰ「今日の出生前診断」澤井英明(兵庫医科大学産科婦人科教授)
- 教育講演Ⅱ「母子健康手帳：自由記載欄から妊婦の気持ちを読み取る」松田義雄(三島総合病院院長)
- 教育講演Ⅲ「見逃してはいけない CTG 波形」友野康江(三宅医院, 助産師)
- スポンサードセミナー「児頭下降度の客観的把握法」青木まり子(順天堂大学医学部附属浦安病院, 助産師)

- ワークショップ「こんな時どうする」毛利多恵子(毛利助産所所長, 助産師)／立岡弓子(滋賀医科大学医学部臨床看護学講座母性・助産学教授)／野牧弘子(神戸大学医学部附属病院看護部副師長)／益子久(益子産婦人科医院院長)

▶参加費

一般 5000 円, 学生 3000 円(事前登録なし。当日, 受付でお支払いください)

▶問い合わせ先

株式会社 M's 企画 東京事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-27-8-703

☎ 03-6868-3704

FAX 03-6868-6021

✉ m-kikaku.matsuzaki@mint.ocn.ne.jp

第 58 回日本母性衛生学会 総会・学術集会

▶日程

10 月 6 日(金)~7 日(土)

▶会場

①神戸国際会議場, ②神戸国際展示場 2 号館(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

▶テーマ

予知予防と心の支え

▶プログラム

- 会長講演「母子感染を予防しよう」山田秀人(神戸大学大学院医学研究科産科婦人科分野教授)
- 教育講演 1「分子遺伝学が明かす男と女」星信彦(神戸大学大学院農学研究科動物分子形態学分野教授)
- 教育講演 2「性的マイノリティ

(LGBT)の理解と支援」中塚幹也(岡山大学大学院保健学研究科教授)

- シンポジウム 1「子育て女性のメンタルヘルスを守れ！」引地和歌子(東京都監察医務院医長)／三品浩基(神戸市こども家庭局こども企画育成部医務担当課長)／小澤千恵(埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター副看護師長)／清野仁美(兵庫医科大学精神科神経科学講座講師)

ほか

▶参加費

会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 5000 円, 学生 5000 円(当日, 受付でお支払いください)

▶問い合わせ先

事務局

〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1

神戸大学医学部 産科婦人科学教室

☎ 078-382-6000

✉ jsmh58@med.kobe-u.ac.jp

第 62 回日本新生児育成 医学会学術集会

▶日程

10 月 12 日(木)~14 日(土)

▶会場

ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5)

*第 27 回日本新生児看護学会学術集会併催

▶テーマ

小さな命, 家族と共に育む医療をめざして—授かった命, 誕生, その成長に寄り添う

▶プログラム

- 会長講演「小さな命との対話、寄り添える新生児医療がもたらすもの」 側島久典(埼玉医科大学総合医療センター小児科・新生児部門教授)
- 特別講演「臨床研修到達目標の見直しとプロフェッショナルリズム」 福井次矢(聖路加国際病院院長)
- 教育講演「胎児異常の出生前診断—誕生前に、どうやって、どこまで診断できるのか」 馬場一憲(埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体・胎児部門教授)／「新生児薬物療法の充実に向けて」 佐藤淳子(独立行政法人医薬品医療機器総合機構国際協力室)／「早期産児の核黄疸—21世紀の難病」 荒井洋(ボバース記念病院院長), ほか
- シンポジウム「周産期リエゾンにこれから何を期待するのか」 「極低出生体重児の発達障害診断と介入」 「親子のこころと育ちに寄り添う」, ほか
- 市民公開講座「『バースハピネス』を考えよう—すべての妊産婦に」
ほか

▶問い合わせ先

事務局

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター新生児科内

☎ 049-228-3727

第 27 回日本新生児看護学会学術集会

▶日程

10月13日(金)~14日(土)

▶会場

ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5)

▶テーマ

家族と子どもの未来を彩る

▶プログラム

- 会長講演: 岡本行江(埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター NICU 副看護師長)
- 特別講演「映画『うまれる』シリーズの製作を通じて感じる『命と家族の絆』~新生児医療に携わる医療従事者のみなさんへのメッセージ」 豪田トモ(映画監督)
- 教育講演「産科から NICU につながる母乳ケア」 水野克己(昭和大学江東豊洲病院小児内科教授)
- シンポジウム「NICU 看護師が知らない(かもしれない)在宅の世界」 「産科からつなげるメンタルヘルス」
- ワークショップ「『あの時』どうした? 『これから』どうする? 忘れたところにやってくる災害に備えよう!」
ほか

▶参加費

● 事前登録

会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円

● 当日参加

会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 3000 円

▶事前登録

8月29日(火)23:59まで

▶申し込み方法

学会ホームページよりお申し込みください。

☞ <http://square.umin.ac.jp/jann27/registration.html>

▶問い合わせ先

事務局

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター 新生児部門

☎ 049-228-3890

第 19 回看護国際フォーラム

▶日程

10月28日(土)

▶会場

別府ビーコンプラザ国際会議場(大分県別府市山の手町 12-1)

▶テーマ

はたらく看護職のストレスを活力に換える!

▶プログラム

- 講演 1 「医療者における仕事と生活のバランスと健康」 渡井いずみ(名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻地域・在宅看護学領域准教授)
- 講演 2 「医療者の身体的・精神的及びスピリチュアルストレス」 カン・スンワン(ソウル大学校看護大学成人老年看護学学科准教授, 国立脳波解析標準化データセンターセンター長)
- 講演 3 「医療者のグリーフとレジリエンス—私たち医療者にケアは必要ですか?」 下稲葉おかり(オーストラリア・モナシェ

大学医学・看護学・健康科学部
看護・助産師科講師，日本プログラムコーディネーター)

●総合討論

▶定員

300名(先着順)

▶参加費

一般 2000 円，学生 500 円(資料代等)，同時通訳用レシーバーは別途 1000 円が必要。

▶申し込み期限

10 月 13 日(金)

*定員に達し次第，締め切り

▶申し込み方法

e-mail または往復はがきに所属，氏名，同時通訳用レシーバー使用の有無を明記し送信。往復はがきの返信用には送付先を記入。

▶問い合わせ先

看護国際フォーラム事務局
〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野 2944-9
大分県立看護科学大学内
☎ 097-586-4300
✉ forum2017@oita-nhs.ac.jp
🌐 <http://www.oita-nhs.ac.jp/events/detail/33>

平成 29 年度分娩取扱施設
における災害発生時の体制
整備に向けたシンポジウム

▶日時

11 月 3 日(金・祝)
10:00~16:00

▶会場

秋葉原コンベンションホール(東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 4F)

▶テーマ

母子のための後方支援の体制整備
にむけて

▶プログラム

- 講演「周産期医療における災害対策の現状と課題」「災害時小児周産期リエゾンの活動と助産師に求められる役割」「産婦人科の災害医療への新たな取り組み—日本産婦人科学会大規模災害対策情報システムを活用したネットワーク構築」
- シンポジウム「災害発生後における母子のための後方支援の体制整備にむけて」
ほか

▶定員

300名

▶参加費

無料

▶募集期間

8 月 1 日(火)~8 月 31 日(木)

▶問い合わせ先

日本看護協会健康政策部助産師課
✉ josanshi@nurse.or.jp

助産師のための母乳育児
サポートセミナー

▶日時

11 月 11 日(土) 12:00~16:30

▶会場

ベルサール神田(東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 3F)

▶プログラム

- 講演 1「経絡について—東洋医学的観点からの母乳育児支援」
野崎利晃(薬剤師・鍼灸師，漢方の野崎薬局代表)
- 講演 2「災害時の母子支援について」
吉田穂波(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学科准教授)
- 講演 3「乳がんの診断と治療の

最新動向」
蒔田益次郎(日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科部長)

*IBLCE 継続教育単位申請予定

▶受講料

5000 円(資料代含む)

▶申し込み期限

10 月 20 日(金)

▶申し込み方法

以下の内容をご記入のうえ，件名を「サポートセミナー参加希望」として，下記アドレスまで e-mail にてご連絡ください。本文には①氏名，②住所，③電話番号，④IBLCE 継続教育単位希望の有無を明記のこと。

▶問い合わせ先

桶谷式乳房管理法研鑽会(セミナー担当：星野)
✉ kensankaihoshino@yahoo.co.jp